

飯伊地区 産業経済動向

No.557 2025/8
(7.9.25 発行)

 飯田信用金庫
IIDA SHINKIN BANK
しんきん南信州地域研究所

<https://www.iidashinkin.co.jp/>
〒395-0044 飯田市本町1-2
TEL 0265-53-5811 FAX 0265-53-1132



Contents

表紙 写真：プレオープンで賑わう「道の駅 遠山郷」(飯田市南信濃・9月21日撮影)	P 1
製造業 景況DIは前月から悪化。産業機器向けで景況感悪化の声が多い	P 2
建設業 8月の公共工事は前年比増加。7月の住宅着工は前年比11%増加	P 4
商業・サービス業 景況DIは前月から改善。飲食業、宿泊業で景況感好転との声が多い	P 5
しんきんリニア・三遠南信対策室です 飯田市議会リニア推進特別委員会 小平委員長にきく ～リニア開業前にリニア駅の賑わいづくりを今から取り組む～	P 6
三遠南信3シンクタンク共同調査 三遠南信地域における、ロケ地・アニメの聖地巡礼	P 8
飯伊地区全産業景況DIの推移・主要経済指標	P 10

◆ 本誌内容は飯田信用金庫ホームページ (<https://www.iidashinkin.co.jp/>) に全文掲載しています ◆

本誌は、当金庫が信頼できると考えるデータに基づき作成されておりますが、データ、記述の正確性、完全性を保証するものではありません。御利用に当たってはご自身の判断によってください。

しんきんは環境にやさしい取り組みを地元のみならずともに行っています。



再生紙を
使用しています

地区内製造業の景況判断指数

概況 景況DIは前月から悪化。産業機器向けで景況感悪化の声が多い

当月の製造業の業況判断指数（DI）はマイナス27.3で、前月から21.4ポイント低下。翌月予測はマイナス3.0で、前月から5.6ポイント上昇。当月は、機械製造の産業機器向け分野で景況感悪化の声が多く聞かれ、他の機械製造分野でも悪化の声の方が多かった。食品製造では景況感に大きな変化はなかったものの、全体での指数は前月から悪化した。先行きについては機械製造、食品製造ともに好転見込み、悪化見込みの声が拮抗しており、極端な悪化を見込む分野がない一方で、明確に好転を見込む業種もない状況で、製造業全体での先行き不透明感が継続している。

主な業種の動き

●電気・精密・光学

- ☑受注、販売… 販売、受注とも前月比は業者により増減分かれるが、販売は増加の声がやや多い。先行きについては増加見込みと減少見込みの声が拮抗。
- ☑景況感…… 当月、先行きともに横ばいとの声が多いが、次いで悪化の声が多い。

[企業からのコメント]

- ・「先々の不透明感が残るものの、当月になると受注は底堅いという流れが続いている」「民需関係に関しては、低迷していた受注が徐々に動き出しているものの、不透明感が続いている」
- ・「価格交渉を行いやすい下地は出来てきていると感じる。値上げにより需要が減退せずに進めばよいが」「人件費増額分も売価に転嫁する交渉を開始している」

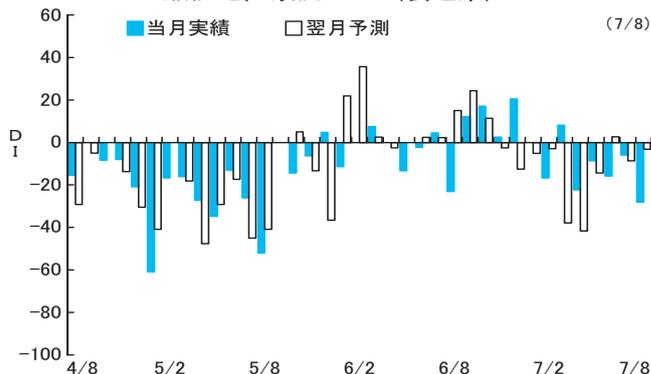
●半導体、液晶製造装置向け機械部品

- ☑受注、販売… 前月比は、販売がやや減少～横ばい、受注は業者により増減分かれる。先行きは業者により増減分かれる。
- ☑景況感…… 当月の景況感はやや悪化～横ばい。先行きは業者により見方が分かれる。

[企業からのコメント]

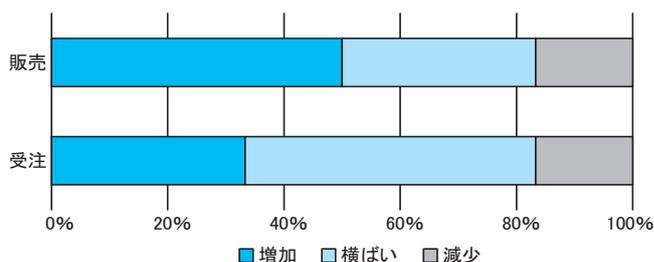
- ・「各取引先が半期末を迎えるため生産や出荷が前倒し傾向となっているが、需要自体は横ばいの傾向」「年末、年度末にかけ受注（新規案件）が確定し始めている。但しメーカーによってかなりの格差があり、全般的には低調なまま推移している感じ。ただ、韓国、北米市場の半導体メーカーの設備投資案件が徐々に具体化されてきている」「8月は当社も取引先も稼働日が少なく、売上は減少。また追い打ちをかけるように需要も減速見込み」
- ・「生成AI向けの投資は活況だが、それ以外の産業が伸び悩み、全体像では需要が低迷期に入っている。各産業の立ち上がりは2026年から2027～2028年後半倒しとなる予測が出ている。現時点で大きな需要が発生する情報がない」「半導体業界の2025年度予想は芳しくない模様。先行き不透明感払拭できておらず、設備投資も2026年度以降で先送りという見方が強い。また、期待されていたAI特需も少し陰りが見え、一服感が漂う。この先もAI、データセンターが牽引すると思われるが、車やスマホ等の需要が回復しないことには、大幅な改善は見込めないと判断する」

飯伊地区景況DI（製造業）

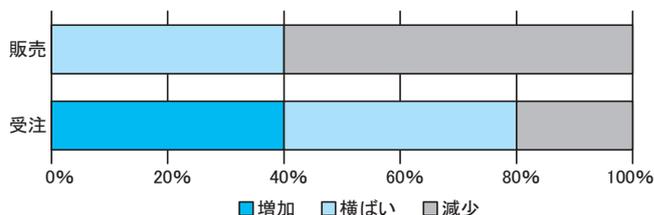


【DI（ディフュージョン・インデックス）とは…
景気に関する投票を指数化したもので、全体の回答数を分母、良い、やや良いとの回答数を分子にした割合から、全体の回答数を分母、悪い、やや悪いとした回答数を分子にした割合を引いた数値。
「先月と比べて景気が良い」との回答が多ければプラス、「先月と比べて景気が悪い」との回答が多ければマイナスとなる。

電気・精密・光学向け部品前月比回答割合



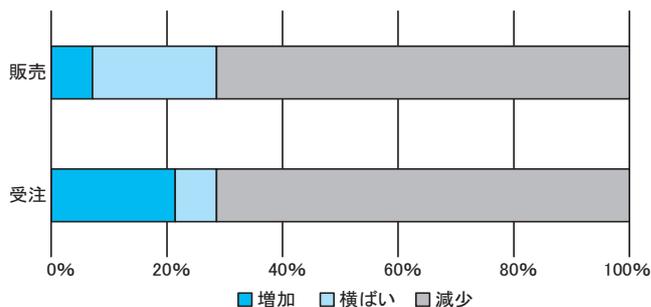
半導体、液晶製造装置向け部品前月比回答割合



●産業機器、医療機器向け等機械部品

- ✓受注、販売… 販売、受注ともに前月比は業者により増減分かれるが、減少の声が多い。先行きについては業者により増減分かれ、増加見込みと減少見込みの声が拮抗している。
- ✓景況感…… 当月は悪化との声が多い。先行きは業者により見方が分かれ、横ばいとの声が多い。

産業機器、医療機器向け部品前月比回答割合



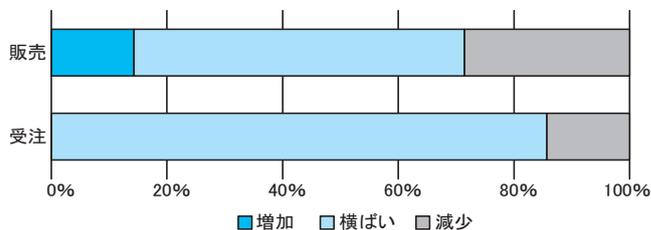
[企業からのコメント]

- ・「航空機、防衛関連は今後も好調の予定であるが、その他の輸出にかかわる製品が先々月ぐらいから急激に受注が落ちた」「8月に入って動きが悪くなったとの声が聞こえる。取引先でも全般的に一服感が出ている」「記録的な暑さのため、全般的に経済活動が進まずストップ状態」「盆前の駆け込み需要が今年はなかった」「会社によって、良いところ悪いところの差が大きい状況」「産業機器分野においては大きな変化はない」
- ・「中期的な視点から人員不足（特に技術系）は会社の成長に大きな弊害となるため、資金投入等も踏まえ、あらたな対策を早急に講ずる必要がある」「将来的に、人員に関しては課題があると感じる（高齢従業員の退職など）」

●食品製造（漬物、半生菓子、菓子原料、その他食品）

- ✓売 上…… 菓子の前月比は減少～横ばい、先行きは業者により増減分かれる。食品全体では当月は横ばいの声が多く、先行きは増加見込みと減少見込みの声が拮抗している。
- ✓景況感… 当月、先行きともに横ばいとの声が多い。先行きは、一部に好転を見込む声も。

食品製造 前月比回答割合



[企業からのコメント]

- ・「土産観光系は昨年に比べて需要がやや上昇した。一般小売は伸び悩んでいる」「下期に再度価格改定を予定しているが、その際の買い控えを懸念している」「チョコレートが高く、消費動向への影響が心配」「今年の酷暑に伴い、清涼飲料や酒類、水菓の業界は堅調とのこと」
- ・「卵、あんこなど原材料の値上がりが大きく、製品価格への転嫁が追い付いていない状況」「過去にないほどの猛暑の影響で、野菜の生育が悪く、高値が心配される」「原料の高騰に歯止めがかからず、買い付けに必要な金額が増える」
- ・「最低賃金の上昇も踏まえ、省人力化やAI、DXを用いた業務遂行への投資を行いたい」「設備投資で省人化を予定している」

●水引製品、冠婚葬祭・祝儀用品、正月・盆用品

- ✓売 上 … 前月比は横ばい、先行きはやや増加～増加。景況感は横ばいで、次月以降はやや好転～好転見込み。

[企業からのコメント]

- ・8月が決算期だったが、材料値上げを反映した販売価格値上げが通ったことで採算は良くなり、先の展望は明るい。だが、材料の値上がりはまだまだ続く見通し。
- ・縁起物業界は景気・不景気の大きな影響は受けにくいものの、先行きの市場拡大への期待は厳しいと感じている。併せて、新規参入する業者は非常に少なく、廃業および従業員不足による生産規模縮小業者もみられる。

●上記以外の製造業

- ✓建築用金属製品… 販売は前月比、前年比とも横ばい、先行きはやや減少を見込む。景況感は当月、先行きとも横ばいという。
- ✓自動車向け部品… 販売は前月比でやや増加、先行きもやや増加を見込むという。景況感については、当月、先行きともに横ばい。
- ✓印 刷…………… 販売は前月比減少、前年比はやや減少。原材料単価は上昇が続いているという。

[企業からのコメント]

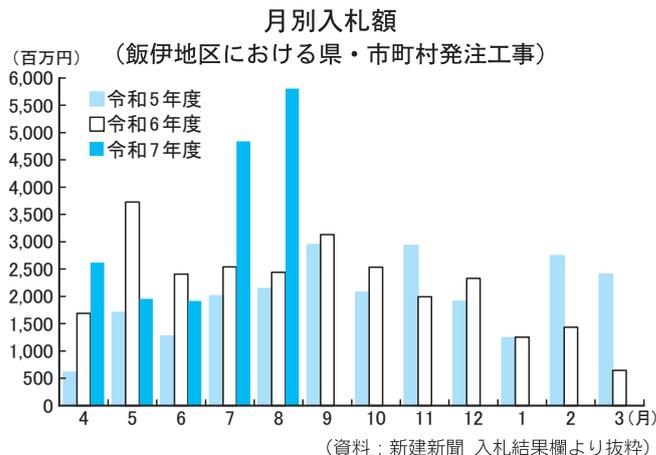
- ・次の仕事のピークは2～3年後と思われるが、それまでになるべく多く仕事を受注できるよう、機械設備や人材を含めて会社の体力の底上げを図っておきたい。そのための対策として、営業および設計の人員増を検討している。また技能実習生の増員も予定している。
- ・8月は昨年より稼働日数が少なかったことも要因の一つだが、前年比、前月比ともに売上はダウン。秋のイベント、来年の各地方の首長選の仕事にも期待したい。
- ・原材料単価は上昇。まだまだ、印刷にかかる色々な資材が値上がりが続いている。

建設業

官公需

概況 8月の公共工事入札金額は前年比で137.7%増加、一昨年比では171.1%増加

- ☑公共工事入札額… 当地区における当月の県、市町村発注工事の入札額合計は、58.1億円（9月15日調査時点）。前年に比べ137.7%増加、2年前との比較では171.1%の増加。
- ☑景況感…………… 当月は横ばい～好転で、横ばいとの声が多い。先行き見込みも横ばい～やや好転で、当月、先行きともに悪化との声はなかった。
- ☑原材料価格…………… 当月は横ばいと上昇の声が半々。先行きは横ばい～やや上昇で、上昇を見込む声やや多い。



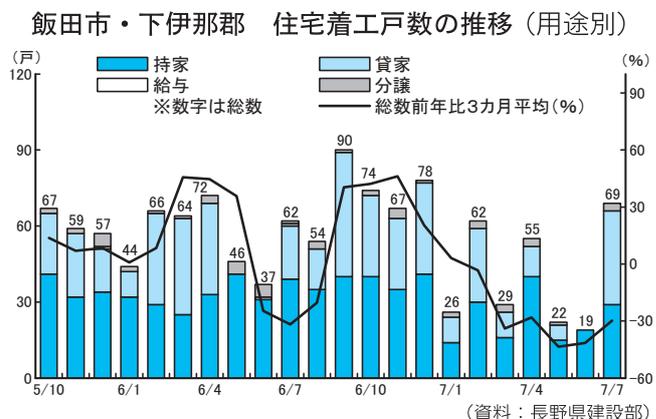
[企業からのコメント]

- ・「公共工事の発注が進んできており、受注確保に取り組んでいる」「官公庁からの受注が順調に進んでいる」「夏季休暇により稼働日数は減少したが、業務高は堅調に推移している」
- ・政治情勢（自民党政権の状況）により、公共事業が左右される。
- ・「人員対策としてハローワークへの届け出は実施したものの、2か月経っても問合せゼロ。前途多難」「業務量はあるが、技術者は不足」「施工社員の不足が続いている」
- ・「直近で重機を増車した。設備投資は今後しばらく様子見」「駐車場の整備を実施。今後は調査機器の購入を検討」

民需

概況 令和7年7月の住宅着工戸数は69戸で前年比11%増加。
持家は減少も、貸家と分譲が増加し、7か月ぶりに前年比プラス

- ☑住宅着工戸数… 当地区の7月の住宅着工戸数は69戸。前月比263%増、前年比では11%増。持家の戸数は29件で前年（39件）から減少。貸家は37件で前年（21件）から増加、分譲は3件で、前年（1件）から増加。
- ☑景況感…………… 当月は横ばいとの声が多数を占める。先行きは横ばい～やや好転で、悪化を見込むとの声はなかった。
- ☑原材料価格…………… 当月は横ばい～やや上昇。先行きについても同様で、下降との声はない。



[企業からのコメント]

- ・工事単価は現状高止まり。今後も、省エネ基準に応じてさらに上がっていくと見られる。
- ・秋冬に向けて、物件が出ているようだ。

建設資材等

概況 8月の生コンの売上は前月比減少、前年比は増加。
骨材は前月比減少、前年比は業者により増減分かれる

- ☑生コン … 売上は前月比では減少、前年比は増加。
- ☑骨材 … 売上は前月比減少、前年比は業者により増減分かれる。

[企業からのコメント]

- ・8月の主な出荷はリニア関連工事、三遠南信工事、発電所工事、砂防工事等に関わるものだった。リニア関連工事の出荷量は当月出荷量の約4割。
- ・「一般公共工事はここまでは極めて少なく、リニア需要に救われている。そのリニアも波があり、当社の場合、今夏は以前より少ない。遅ればせながら長野県や市町村の発注がいくらか出てきたが、期待量に達していない」「リニア南アルプストーンネルに対する生コンは順調に出荷している」
- ・一般公共工事がいくらか発注されてきた。工種や立地条件によって、影響する生コン・砂利に多少の差が出るのではないかと。

商業・サービス業

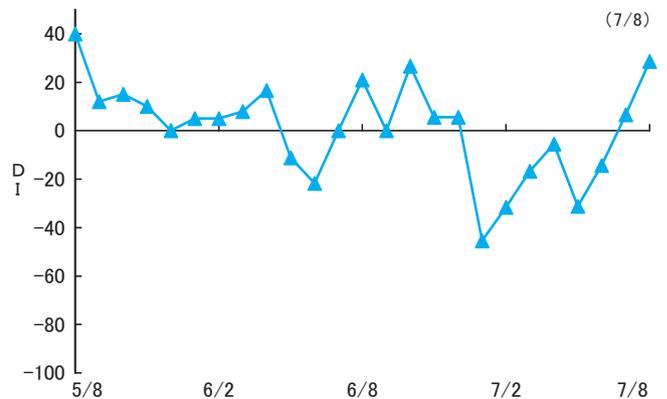
概況 景況DIは前月から改善。飲食業、宿泊業で景況感好転との声が多い

当月の商業・サービス業の業況判断指数（DI）はプラス28.6で、前月から21.9ポイント上昇。

当月は飲食業と宿泊業で景況感好転の声が多く聞かれ、指数は前月から改善した。今夏は記録的な猛暑となったが、宿泊業ではお盆、夏休みシーズンの間の天候が良く、台風などの影響もなかったことで昨年よりも売上が伸びたという声が複数聞かれた。飲食業でもお盆休みまでの間は客足が伸びたとの声が聞かれた。一方で、小売業、卸売業の一部からは売上が減少し、景況感が悪化したとの声もあった。

夏休みシーズンを終えた次月以降は飲食業、宿泊業を中心に悪化を見込む声が多い。

商業・サービスDI



主な業種の動き

●小売業 概況 売上の前月比は業者により増減分かれる。景況感も業者により見方が分かれる

☑売上 … 前月比は業者により増減分かれるが、増加との声はやや多い。

☑景況感 … 当月は業者により見方が分かれる。先行きは横ばいという。

[企業からのコメント]

・米は相変わらず不足気味で、価格についても上昇中。

●卸売業 概況 売上の前月比は業者により増減分かれる。景況感はやや悪化～横ばいで、先行きも同様

☑売上 … 青果、電設資材は前月比増加。建築資材はやや減少。

[企業からのコメント]

・野菜は、主力のキュウリは、気温が高く昨年より前進出荷している影響で入荷増。人参、トウモロコシ、玉ねぎなども売上好調となり昨年の価格高を維持したことで、野菜全体の売上も増加した。果実は、8月主力の桃は入荷減も価格が高く昨年並みの売上。出荷が早まった梨類は入荷は昨年並みも価格は安くなった。早生りんごは価格高で売上増も、スイカは入荷量、価格ともに昨年を下回り、果実全体でも昨年の売上には届かなかった。

・大型工場物件の受注を中心として売上は堅調。ただ価格転嫁に起因する場合も多く、仕入単価（原材料価格）上昇が売上高アップの一因である。商材としては、「再生可能エネルギー関連／環境配慮型商品」の需要が高く、商品ラインナップを広く増やす必要がある。お客様の需要に即座に対応できるよう、体系的な対応も迫られている。

●飲食・宿泊・運輸業 概況 売上の前月比は、飲食業では増加、宿泊業でも増加との声が多い。景況感も飲食業、宿泊業ともに好転との声が多い

☑売上 … 飲食業の前月比は増加、宿泊業は横ばい～増加で、増加との声が多い。運輸業は前月比やや増加。

[企業からのコメント]

・「8月は昨年と比べ、体感としての景気は悪かったが、1か月を通してみると売上は昨年より伸びていた。お盆の時期などの法事（新盆等）が順調に回復していることが要因として大きいと思う」「8月からお盆までは客足が増えた。昨年より売上は上がる。お盆中は地元で楽しむ人が多く売上が伸びたが、お盆明けは客足が遠のく」

・「天候にも恵まれ、個人客、団体客ともに増加した。お客様からは、涼しい信州へと選んできたものの暑いとの声があった」「7～8月までのナイトツアーの恩恵にあずかり、売上は好調。特に8月は近年には珍しく台風がなく、売上も最大限の結果を残せた」「お盆、夏休みの月で人の動きは毎年多い月だが、今年も例年並みに動きがあり、売上は増加した」「アフターコロナからくる開放感消費は既に終息しているが、宿泊消費は底堅く堅調。特に富裕層市場はエリア競争において重要な市場であると注力している」「9月は一つの正念場となりそうで、売上も伸びない予想」「今月は全体的に人数が多く見受けられたが、問題は12～3月の期間をどうするか。星空さんぽ、雲海ツアー、ご来光と朝日に燃ゆる紅葉など企画を設定し、販売を始めた」

・コロナ前との売上対比は8割強で、タクシー運行回数は7割弱。10月の最低賃金改定が大幅増額となることが予想される中で、固定人件費の増加を現在の運賃制度の中で維持できるか、大きな不安である。また、夜間に需要が戻ってきていても勤務時間に制限があるために、思ったような配車ができない状況である。

飯田市議会リニア推進特別委員会 小平委員長にきく ～ リニア開業前にリニア駅の賑わいづくりを今から取り組む～

飯田市議会は、本年4月の選挙を経て新たな委員会構成を行った。リニア推進特別委員会の委員長に就任した小平 彰議員に聞いた。

■委員長に就任して

ーリニア推進特別委員長に就任されました。特別委員会のこれからの方向性は新委員会の方向性の正式なものはまだ出していないが、昨年3月にリニア開業が10年以上延期されることが確定。その後飯田市は駅前広場の2028(令和10)年度に部分供用開始を決定している。ある意味スタートが切られている状態。リニア開業までのおよそ10年間にここで賑わいを創る。リニアの運行による賑わい以前に当地域の資源、魅力を今から発信してここに人が来て貰い、それをリニア開業時の賑わいに繋げていく。このような考え方で委員会として進めていく。

委員会の当面の方向性としては、①勉強 新しいメンバーが多いのでリニア関連をはじめ皆で勉強する ②2028年供用開始に対し供用に向けて推進委員会としての認識を共有する ③駅周辺に対し「駅前広場」だけでなくその周りも委員会として意識する、ということではないかと考える。



小平 彰 リニア推進特別委員長

■リニア駅前広場部分供用の概要

ー2028年の駅前広場部分供用開始はどのようなものですか

供用開始を進めるのは市であり、当委員会はその内容について検討する立場であるが承知していることとしては、リニア駅の本線部分とその両サイドが駅の工事施工ヤードとなり、その北側と南側の広場を先行して整備し供用することになる。「飯田・リニア駅前プラットフォーム」に参加している事業者によりどのような賑わいを創っていくか検討を進め、それにより必要な賑わい施設の内容が決まってくる。

賑わい施設としては、市長が市議会で「カフェや地元の農産物が買える食べられるマルシェのような、ある意味道の駅のような」(9月議会一般質問)と述べている。私としては事業者と協議し市が早く結論を出すことが重要と考える。

ー賑わい施設等の設置は

現在考えられているのは、賑わい施設は南側の広場に置かれる。南側広場には駐車場と調整池が置かれるため、自ずと設置場所は決まってくる。

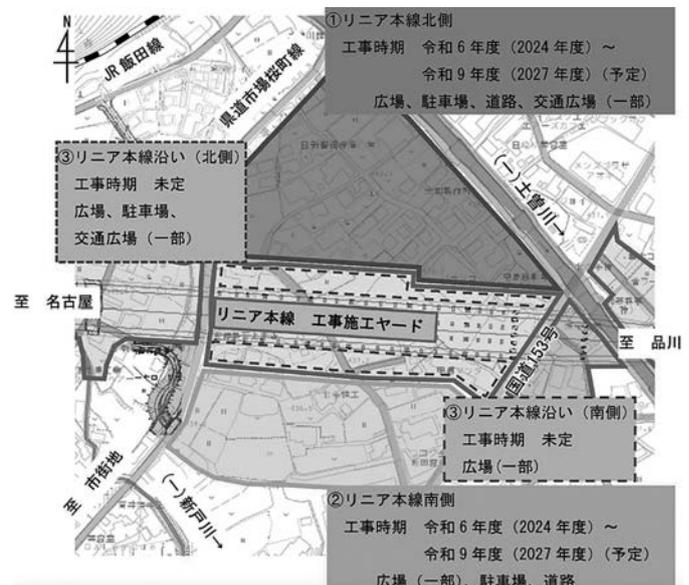
施設の内容・規模等は参加事業者がつくる事業計画の内容により決まってくる。プレハブのものや他所の新幹線駅にあるようなコンテナの施設などとも言われているが、私もそのような施設を見たがやはり今一つ。開業時には壊せる程度の本造で、それなりの雰囲気のある建物にする必要があると思う。

トイレは北側広場にも設置される予定で、その他は当初計画の大屋根等が造られる。

ー「管理棟」は耳慣れないが。賑わい施設とは別か？

本来リニア駅の高架下につくられるものだが、駅舎

2028年 リニア駅前広場 部分供用開始の概要



「飯田・リニア駅前広場の整備方針について」(飯田市HP)

完成前の部分供用ということで、トイレとともに外に造る必要が生じた。賑わい施設とは別になる。

ー北側広場の構造物・建物は、完成型が部分供用時までに来上るのか

それについては市も考えているようで、私としては、当初は芝生広場にでもして徐々につくっていけばいけば良いのでは、と考えている。管理費一つとっても、「マルシェと道の駅」とでは、道の駅はトイレを24時間開けなければならない。これによる管理(費)も馬鹿にならないということが他の道の駅からも聞こえてくる。マルシェ的なものの方が個人的には良いのではと考えるが。

駅周辺整備に対する補助金の対象範囲と事業費、管理費などとの総合的な判断となるのでは。

ー駅前広場が部分供用時とリニア開業時という二段階を踏んでいくことになる。事業者の入れ替わりなど、どのように変遷していくと考えられるか

現在手を挙げてくれている23者は、部分供用時の賑わいを創っていくという点にご賛同いただいてきてくれている方々で、これからしっかりと取り組んでいただけたらと思う。当初リニア開業時の取っ掛かりを考えて参加していると思われる事業者もあったが、リニア開業が先に延びたことでスタートが切れない状態である。

これが、あと何年かで開業ということが確定し駅舎もできる段階になると、ここで事業をしたいとする事業者は当然出てくると思われる。そのときもこの「プラットフォーム」の枠内で調整がされていくのではないかな。

■リニア推進特別委員会のこれから

ーリニア推進特別委員会は駅周辺整備の事業内容を審議する委員会と聞いているが、今後は

リニア推進特別委員会の在り方については、議会内で検討してきた。これまで常任委員会と別で、ということで続けてきたが、本年度の委員会構成において、産業建設委員会の委員が特別委員会の委員を兼ねることとした。これによりリニア関連の予算審議権を持つことができている。また、今後はリニアを通じて観光などの産業振興や街づくりなど、産業建設委員会の守備範囲とする分野に幅広く対応していくことができるし、そうする必要があると考えている。

観光といえば、飯田に来たインバウンド客が「木曾へ行きたい」と言ってきた例があったという。海外から見れば伊那谷と木曾は地図上隣りで、水平的に移動できると思えば伊那谷に入ってしまったようだ。情報発信の重要性とともに、飯田に来てくれた人に昼神や遠山郷など当地域の魅力的なスポットを伝え、各地を巡ってもらおう。駅前広場部分共用時にはそのような観光面の取り組みを行う機能が必要と考えている。

「駅周辺の周辺」についても、土地利用計画の見直しを進め、周辺に点在する農振地域の解除など、リニア開業を見据えた検討などが考えられる。

ー地域内の二次交通などは

市のリニア推進部が地域の公共交通や二次交通を所管しているので、当特別委員会は当然その分野も見ることになる。リニア駅と丘の上とのアクセスは、県道市場桜町線の改良が進められているので、道路整備がきちんとできれば今後自動運転など可能性が広がる。

元善光寺駅とのアクセスも、リニア駅とエス・バードを繋ぐ道路など、市もこの方面の整備については考えているようで、元善光寺の御開帳となれば多数の来訪があるので、門前の通りとして整備しながら、グリーン水素関連のオフィスを展開するなどが考えられる。いずれも産業建設委員会の分野として取り組む内容となる。

■長野県駅の賑わいを創る

リニア新幹線の部分開業について言われているのは承知している。反対することではないが、JR東海がその気になるだけの輸送需要が現状あるとは考えられないのでは。それだけに、部分供用時のリニア駅の賑わいを創っていくことがまず第一と考える。



県道市場桜町線から望むリニア駅予定地(9月26日撮影)

(飯田信用金庫 しんきん南信州地域研究所 リニア・三遠南信対策室 加藤 修平)

三遠南信地域における、ロケ地・アニメの聖地巡礼

1. 三遠南信地域のドラマ・アニメツーリズムの事例 ～浜松市「シン・ハママツ計画」～

浜松市では現在、「シン・ハママツ計画」と銘打ち、人気アニメ「新世紀エヴァンゲリオン」と浜松市がコラボレーションした大規模な観光振興プロジェクトを展開している。

天竜浜名湖鉄道・天竜二俣駅が、TV放映開始から30周年を迎える「新世紀エヴァンゲリオン」の新劇場版シリーズ第4部、完結編となる「シン・エヴァンゲリオン劇場版」に登場する、「第3村」のモデル地の一つとなったことから、エヴァンゲリオンシリーズのファンや国内外の観光客に浜松市を訪れてもらい、地域の魅力を再発見してもらうことを企図したものである。

浜松市役所1階ロビーにエヴァンゲリオン初号機の立像を設置してランドマークとしたほか、天竜浜名湖鉄道と遠州鉄道のラッピング・新ヘッドマーク電車の運行、スタンプラリーや両鉄道の共通1日フリー切符、鉄道ファンお馴染みの、天竜二俣駅の転車台見学ツアーが企画され、県外からの来訪者も多い。



資料：(一財)しんきん経済研究所

2. 聖地巡礼の効果 ～巡礼者のリピート率～

昨年12月31日に放映された「孤独のグルメ大晦日スペシャル」は、主人公の井之頭五郎がひょんなことから飯田市のトキワ劇場に映写機とフィルムを届けることになり、そこから飯田焼肉を体験するというストーリーだったが、ご覧になった方も多いただろう。

撮影は「飯田らしさを出すこと」がテーマの一つだったといい、トキワ劇場の関係者が飯田の名物である「飯田焼肉」を提案し、番組スタッフと共に複数の店を巡り撮影場所の選定を進めたという。

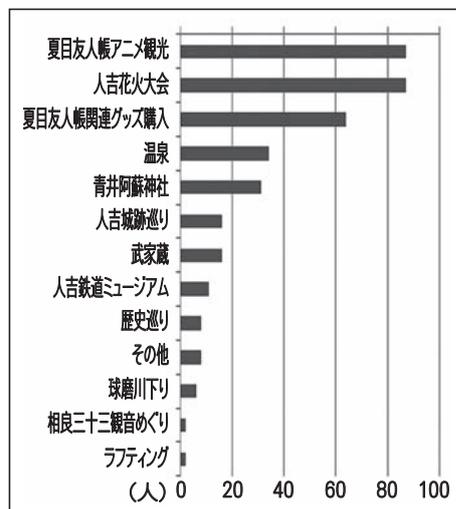
飯田下伊那地域でも漫画やアニメ、映画等で取り上げられた場所や建築物等の例は多いが、学説には、「聖地巡礼」にあってはリピート率が高い可能性があることを指摘するものがある(岩崎他「アニメ聖地巡礼におけるリピート行動分析—『夏目友人帳』熊本県人吉市における巡礼行動を事例として—」2017 右2図の出典も同様)。

右上表は、2003年から月刊LaLa(白泉社)で連載が開始され、1,000万部以上の売り上げを記録し、2008年からアニメ化(テレビ東京系)された『夏目友人帳』について、舞台となった作者の緑川ゆき氏の出身地である熊本県人吉市で行ったアンケート調査により、聖地巡礼者の人吉市への訪問回数を調査したもので、実に81.8%が複数回人吉を訪れていた。8回訪れたハードリピーターも少なくない。

こうしたリピーターに対し、「これまで人吉に訪れた目的」について複数回答でたずねたところ、夏目友人帳関連以外にも訪問目的が存在することが示された(右表)。また、図表にないが、聖地巡礼の際、9割以上が聖地以外のスポットにも足を延ばしているという。

こうしたことから前掲論文は、聖地巡礼においては、「作品に描かれた地域を聖地とし、その地にある所与の景観や歴史、文化などを消費するのではなく、作品世界が投影された地域を旅することによる強い愛着が生起される。このような旅行者一人一人の態度形成が、アニメ聖地巡礼による地域誘客の持続性につながっていると結論付けることができる。」としている。

訪問回数	度数	パーセント
1回目	18	18.2
2回目	23	23.2
3回目	7	7.1
4回目	13	13.1
5回目	7	7.1
6回目	5	5.1
7回目	4	4.0
8回目	22	22.2
合計	99	100.0



3. ドラマ・アニメ・ツーリズムへの、地域のかかわり方 ～とよはしフィルムコミッション～

豊橋市を始めとする東三河地域が舞台となった映像コンテンツも多いが、これを地域活性化に結び付ける取組をご紹介します。

表中のアニメ「負けヒロインが多すぎる！」は、原作ライトノベルの作者が豊橋市出身の雨森たきび氏で、作中のキャラクターの通うツブキ高校が愛知県立時習館高校をモデルにしているほか、豊橋市、田原市、新城市の観光スポットが数多く登場する。

このアニメは、豊橋市とJR東海のコラボ企画「押し旅キャンペーン」で取り上げられたほか、オリジナルスタンプ帳を購入しスタンプが設置された22か所のスポットを巡って「聖地巡礼」を楽しめるイベント、「豊橋まちあるきスタンプ」も開催された。専用スタンプ帳8,000冊、合わせて販売した缶バッジ25,000個を販売し、参加店舗から「ファンからはスタンプ取得とともに本業の商品も購入してくれる」との声もあるという。

「豊橋まちあるきスタンプ」を展開したのは、「(一社)とよはしフィルムコミッション(以下「とよはしFC」)」である。「とよはしFC」は、アニメやドラマ、映画のみならずバラエティー番組のロケでも、ロケ地の選定・紹介・ロケ対応やエキストラの手配等々、コンテンツ製作者の支援を専門にする組織だ。

一人の情熱的な女性の献身で活動の幅を広げてきた「とよはしFC」は、創設期から、

- ・Noと言わない：「受けた提案は一旦持ち帰り、実現可能性を検討する。」
- ・不可能を可能にする：「一見不可能と思われることでも、実現可能な方法を模索する。」
- ・かゆい所に手が届く：「実績に基づき、現場で必要とされることを適宜提案する。」

をモットーにしてきた。

こうした姿勢は制作側に高く評価され、リピーターの制作スタッフも増加している。特に営業活動は行っていないにもかかわらず日常的に問い合わせが寄せられ、2024年度には27件のロケを実施、相談件数はその約3倍にのぼるまでになった。

実績の積み重ねで市役所内の協力体制も整ってきたほか、市民の意識にも変化が見られるようになったという。毎年実施している市民意識調査で、「豊橋市の自慢できること」として「TVドラマや映画などのロケ地になっていること」と回答した割合が、2015年度の15.1%から2024年度には33.6%まで上昇した。

国内外からの多数の聖地巡礼者があり、直接的な経済効果は1億円を超え、アニメ内に登場した施設の来訪者数や店舗の売上も大きく伸びたという。

“押し活”から始まるコンテンツツーリズムでは、作品の“押し”に止まることなく、作品の背景となった地域への強い愛着に、旅行者を誘うことがある。聖地巡礼者にリピーターが多いことはその証左であろうし、実際、天竜二俣駅の転車台見学ツアーには県外ナンバーの車両が多くみられ、東三河でもキャンペーン期間中SNSを通じて現地を訪れたファンの投稿が拡散され、地域の認知度やイメージ向上、さらには交流人口の増加にも貢献した。

地域住民にとっては、何気ない日常である道路、公園、学校、商店街といった風景が、巡礼者や協賛企業といった外部からの視点や関心を通して見ると、魅力に溢れた風景だと知ることもある。

巡礼者や地域住民が地域に対する誇りや愛着を持つことは、持続可能な地域づくりにとって大きな意義を持つのであり、コンテンツツーリズムとそれを支える地域の実践には、その大きな可能性が秘められている。

(飯田信用金庫 しんきん南信州地域研究所 中村 達)

東三河地域がロケ地・題材となった主な映画・ドラマ・アニメ

放送年	作品名	ロケ地・舞台
2020	NHK連続テレビ小説「エール」	豊橋市、新城市
2022	映画「異動辞令は音楽隊！」	豊橋市、豊川市、蒲郡市
2023	NHK大河ドラマ「どうする家康」	新城市、田原市
2023	ドラマ「VIVANT」	豊橋市
2024	ドラマ「ブルーモーメント」	豊橋市
2024	アニメ「ゆるキャン△」3期	東栄町、設楽町
2024	アニメ「負けヒロインが多すぎる！」	豊橋市、新城市、田原市

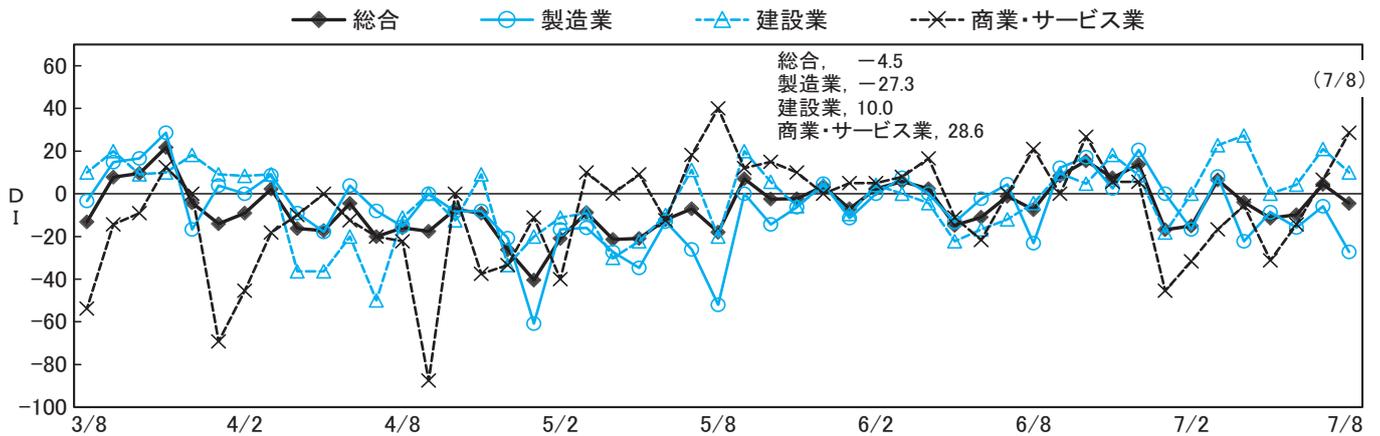
(資料：東三河地域研究センター)



負けヒロインが多すぎる! 聖地巡礼マップ 豊橋駅エリア
(公式HP より引用)

飯伊地区全産業景況DIの推移

飯伊地区景況DI (本誌調査)



飯伊地区主要経済指標

主要指標		実数	前月比	前年同月比	前々年同月比	令和元年同月比
倒産件数 (負債総額1千万円以上)	県内	8件	(前月 6件)	(前年同月 6件)	(前々年同月 10件)	(令和元年同月 6件)
	飯伊	1件	(前月 0件)	(前年同月 0件)	(前々年同月 1件)	(令和元年同月 0件)
住宅着工戸数 (飯田市、下伊那郡 総数) (7月)		69戸	263.2 %	11.3 %	16.9 %	7.8 %
有効求人倍率 (パートを含む実数) (ハローワーク飯田管内) (7月)		1.36倍	(前月 1.31倍)	(前年同月 1.34倍)	(前々年同月 1.58倍)	(令和元年同月 1.48倍)
自動車新規登録台数 (松本事務所管内)	新車	1,629台	△ 9.0 %	△ 7.4 %	△ 11.5 %	△ 27.1 %
	中古車	712台	1.6 %	9.9 %	4.4 %	14.5 %
軽自動車新規登録台数 (全国軽自動車協会連合会) (7月)	新車	3,710台	△ 7.5 %	3.5 %	8.8 %	△ 8.6 %
	中古車	1,158台	△ 3.1 %	2.5 %	16.1 %	15.0 %
中央道利用台数 (飯田インター分)	入	108,547台	3.2 %	4.2 %	4.0 %	△ 15.6 %
	出	107,894台	3.4 %	4.2 %	1.8 %	△ 16.9 %
中央道利用台数 (松川インター分)	入	62,323台	0.1 %	3.7 %	△ 5.0 %	△ 28.1 %
	出	58,750台	△ 1.8 %	1.3 %	△ 5.0 %	△ 29.5 %
中央道利用台数 (園原インター分)	入	18,879台	29.8 %	11.5 %	7.5 %	△ 7.7 %
	出	17,752台	38.7 %	13.8 %	6.1 %	△ 12.7 %
中央道利用台数 (飯田山本インター分)	入	59,634台	10.1 %	5.8 %	11.8 %	9.2 %
	出	59,348台	10.2 %	4.9 %	8.7 %	8.1 %
中央道利用台数 (座光寺スマートインター分)	入	48,078台	△ 2.2 %	8.5 %	16.6 %	- %
	出	49,424台	△ 1.2 %	12.1 %	27.4 %	- %
信用保証協会 新規保証件数 (飯田支店管内)		128件	0.0 %	20.8 %	8.5 %	△ 11.7 %
信用保証協会 代位弁済件数 (飯田支店管内)		4件	(前月 9件)	(前年同月 1件)	(前々年同月 0件)	(令和元年同月 7件)
高速バス乗車人数	飯田～新宿	31,526人	40.2 %	8.6 %	11.4 %	△ 14.5 %
	飯田～名古屋	18,025人	29.6 %	11.2 %	8.3 %	△ 21.2 %
	飯田～長野	5,001人	8.2 %	28.5 %	26.3 %	△ 46.0 %
	伊那・駒ヶ根～新宿	24,870人	30.2 %	10.1 %	13.5 %	△ 15.6 %
市内循環バス乗車人数	左回り	3,420人	13.1 %	8.8 %	26.9 %	△ 8.5 %
	右回り	3,104人	△ 5.9 %	△ 2.2 %	7.8 %	△ 14.2 %